



HAKUBA H.S. Report Channel

白馬高校レポートチャンネル

令和6年7月18日（第187号）

発行：白馬高校 教務係

TEL 0261(72)2034(代表)

ホームページも
ご覧ください⇒



白馬
高校

進路の日

6月4日、1・2年生を対象に、大学や専門学校などの見学や模擬授業をととして今後の進路を考えるきっかけとするために「進路の日」がありました。コースは3つあり、清泉女子大学や長野大学、松本大学や大原スポーツ公務員専門学校等に見学・体験授業に行きました。学ぶ空間の雰囲気や設備を知り、先輩や担当者からの講話を真剣に聞く姿から一人ひとりが自身の進路に興味を持って向き合っていました。普段は年齢の近い外部の人と関わる機会があまりない高校生にとっては、進路選択の一つの大きな手掛かりになったことは間違いありません。残りの高校生活を営む上でこの経験が良いきっかけになればいいですね。



芸術鑑賞会

6月19日、芸術鑑賞会が松本市にあるキッセイ文化ホールで開催されました。朝はいつも通り白馬高校に登校し、1時限目とLHR・清掃をしてバスで現地に向かいました。今年度はナッポス・ユナイテッドによる演劇「湯を沸かすほどの熱い愛」を鑑賞しました。鑑賞前に生徒と話をするとうる、演劇に興味がない、寝ちゃうかもしれないという声が多くありました。それでも大きいホールで劇を観られるという非日常感からか生徒は皆とてもいい表情をしていました。実際に劇が始まると役者の方の声の張りやセットからにじみ出る臨場感で場の雰囲気は一気に変わり、舞台に釘付けになりました。公演後の生徒の顔は鑑賞前の顔とは明らかに異なり、ほほえみと充実感が溢れていました。また、鑑賞後のアンケートにも劇の内容に則した具体的なものが多くあり、「生き方を考えさせられた」というものまでありました。今年度の芸術鑑賞会が終わった直後ですが、来年度の演目に対する要望が多く寄せられています。鑑賞して「楽しかった」に加え、これから先に活かせる経験や思い、考え方や感情が得られる機会になればいいと思います。



交通安全教室

6月26日、交通安全教室が行われました。基本的な交通ルール・マナーの確認。安全な自転車走行について。トラックを使用しての死角・内輪差について研修をしました。この日は天候に恵まれたため、校庭での実施が実現し、より実際に則した学びを得ることができたと思います。実施を担当してくださった、長野県交通安全教育支援センターの職員の方がコンビニの配送で利用されているトラックを準備してくださいました。生徒がトラックの運転席に実際に乗車し、外に立つ教員をどの角度まで肉眼で確認することができるかという実験を行いました。白馬高校は自転車で通学している生徒が多くいるため、今回の研修で「気を付けよう」という自己啓発につながるヒントを多く得られたと思います。



しろうま祭

2024 第73回しろうま祭が、7月5日から7月7日の3日間開催されました。初日は開催式、体育祭ではじまり、校内祭・前夜祭と続きました。1学年にとっては最初の、3学年にとっては最後の文化祭でした。開祭式では先輩の空気感に馴染めていなかった1年生も、企画が進むにつれてしろうま祭の雰囲気盛り上げていました。2日目・3日目は一般公開が行われ、クラス展やダンスの発表を楽しむ姿が見られました。一般の方から人気を集めていたのはタピオカ販売やお化け屋敷で、クラス展を運営している生徒も普段はあまり見られない、学年の壁を超えた活動によって交流を深めていました。一般公開期間で受付をした来場者の人数は 703 人となり、例年並みの来場者がありました。長い時間をかけ生徒会執行部を中心に枠組みを整えてきたしろうま祭も、終わりが近づいてくるとどこか名残惜しい雰囲気になりました。全体的にダンスや演奏の発表文化祭そのものの枠組み等準備してきた成果を最高の舞台で出し切ることができたと思います。

